

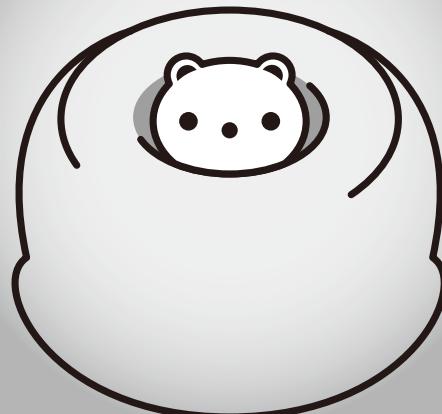
A THEME IS SNOW. PLEASE ENJOY VOL.2

# ILALA<sup>15</sup>

TAKE FREE

HOKKAIDO ILLUSTRATORS CLUB α  
FREE PAPER < ILALA > | VOL.2

# ごご3時



# ごぜん2時



ヒ・ミ・ジだよ



シレトコドーナツ トコトコ直営店

東京駅 京葉ストリート店

Tel : 03-3218-8022

上野駅 エキュート上野店

Tel : 03-3843-2077

新千歳空港 シレトコスカイスイーツ店 Tel : 0123-46-2109

中標津町 シレトコファクトリー Tel : 0153-73-2110

中標津町 カフェ カイヨウダイ Tel : 0153-74-2525

ひらめき・ときめき・このゆびとまれ  
**siretoco factory**

株式会社 味のオーハシ シレトコファクトリー  
〒086-1141 北海道標津郡中標津町大通北3丁目9-1  
TEL : 0153-73-2110 FAX : 0153-73-2320

インターネットネットでも買えるよ♪ <http://siretoco23.jp>



イラスト：ナカイアサ naka.asa@jcom.home.ne.jp

会期：2014年12月4日～2014年12月23日

時間：平日 12:00～24:00  
日祝日 12:00～21:00

定休日：水曜日 ※12月9日(火)は臨時休業

入場料：無料

場所：札幌市中央区北1条西23丁目1-1  
メゾンドブーケ円山1F  
CAFE ESQUISSE (カフェ エスキス)

連絡先：TEL/FAX 011-615-2334

<http://cafe-esquisse.net>



会期：2014年12月4日～2014年12月23日

時間：平日 12:00～24:00  
日祝日 12:00～21:00

定休日：水曜日 ※12月9日(火)は臨時休業

入場料：無料

場所：札幌市中央区北1条西23丁目1-1  
メゾンドブーケ円山1F  
CAFE ESQUISSE (カフェ エスキス)

連絡先：TEL/FAX 011-615-2334

<http://cafe-esquisse.net>

#### ●出展者 プロフィール参加イラストレーター (Participating Illustrators) 五十音順 / 41名

青木千佳／石川由起枝／西垣涉／伊藤沙緒子／植田伊都子／蝦名修平／太田寅姫／小川里恵子  
小田啓介／越澤秀／柏葉祐司／カミグチヤヨイ／キラミの／栗井典矢子／小林皓次／小林龍一  
ゴトウマキエ／佐々木美保／佐藤正人／渋谷裕二／島田沙織／スズキラム／鈴木隆一／スダナオ子  
添田恵子／高橋万里子／ないとうひづき／中井伸佐子／西村昌美／細田哲郎／細矢雅恵／本間弘子  
真野奈優季／真吏奈／まる／三戸祥子／村井里津子／ももいじゅん／森迫暁夫／リョウコ  
山田るみ

イラスト&デザイン：柏葉祐司

イラスト編集長 小田 啓介



これから寒い季節、こたつやストーブで温まりながら、フリーぺーパー「イララ」を読んでほっこりした時間を過ごしていただけました幸いです。

レーティーズクラブα新入会員の真吏奈さんの作品。若さと女性らしさ溢れる素敵なイラストとなっており、中面にも見開きで参加されていました。また若干21歳にして玄光社発行の「イラストレーション」にて紹介された新入会員松浦シオリさん、ベテラン会員の方々、そして今回は会員以外の方にもご参加いただきました。

今回のテーマは「雪」。北海道に暮らす私たちには馴染みのものではあります、人それぞれが持つ雪のイメージは様々。13人のクリエーターがオリジナリティ溢れる表現をしています。表紙は北海道イラスト創刊号が発行されてから4ヶ月。少ないながらも発行部数3000部の大半が多くの方の手に渡り、様々な意見も頂き、おかげさまで無事に第2号も発行することができました。

# イララ2号完成!

イラストレーターが作るフリーぺーパー

## 01 イララ2号完成!のご挨拶

### ピースクリスマス展のお知らせ

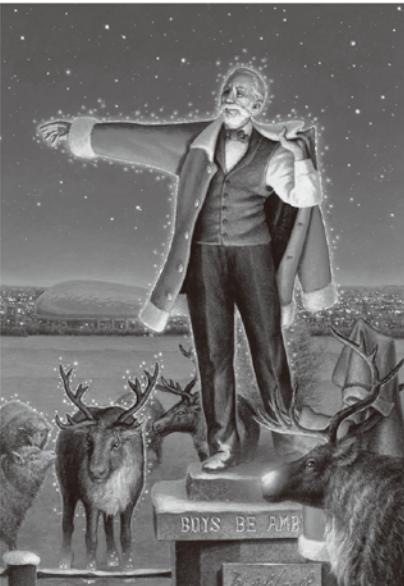
- 03 イラストレーター 西村 昌実 (a会員)
- 04 イラストレーター 柏葉 祐司 (a会員)
- 05 イラストレーター 松浦 シオリ (a会員)
- 06 イラストレーター 石川 由起枝 (a会員)
- 07 イラストレーター 鈴木 隆一朗 (a会員)
- 08 イラストレーター 石垣 渉 (a会員)
- 09 イラストレーター 真吏奈 (a会員)
- 11 イラストレーター 佐藤 正人 (a会員)
- 12 イラストレーター 佐藤 博美 (a会員)
- 13 イラストレーター 吉川 聰子 (ゲスト参加)
- 14 デザイナー 高橋 鉄雄 (ゲスト参加)
- 15 イラストレーター 中井 亜佐子 (a会員)
- 16 イラストレーター スダナオ子 (a会員)
- 17 [連載] イラストレーターへの質問コーナー

表紙イラスト：真吏奈(マリナ)

「イララ」メインスポンサー  
株式会社 味のオーハシ「シレトコファクトリー」  
〒068-1141 北海道標津郡中標津町大通北3丁目9-1  
TEL：0153-73-2110 FAX：0153-73-2320



【木枯らし新雪\*十五島公園にて】  
yuji kashimada



▲第7回(2012年)出展「クラークサンタ」  
►第2回(2005年)出展「クリスマスケーキ」

イラストレーターによって「平和」の捉え方は様々、さらにクリスマスを加味して『A4サイズ以内』表現しています。会場では40点程の作品を展示予定で、12月4日からの開催です。今回はα会員のみならず、会員外の道内イラストレーターたちも参加。バラエティ豊かな作品をどうぞご高覧くださいませ。会期・会場などの詳細は前ページで!

▼第3回(2006年)出展「エゾリスと雪だるま」



作品はHPにてカラーでご覧頂けます。「イラスト 西村昌実」でご検索、「西村昌実イラストレーションギャラリー」へ。

ピースクリスマス展も今回が第8回目。初回は10年前の2004年でした。その前年に北海道イラストレータークラブαが設立30周年を迎え、「Peace」をテーマにペットカードサイズでイラストを公募したところ、全国のイラストレーターや札幌市内の専門学生などから総数665点もの作品が集まりました。盛況に終え、一度で



▲第6回(2010年)出展「ウサギと雪だるま」

絵・文  
西村昌実



終わらせるのも惜しいとのことで、翌年からは「ピースクリスマス展」として継続されています。当時は不安定なイラク情勢、各地でのテロ、邦人がイラクで拘束され「自己責任」という言葉が飛び交った頃。しかし、未だに各地で紛争は絶えません。

►第5回(2008年)出展「牛とサンタ」



ピースクリスマス展って、なんだ?!



絵・文 石川由起枝 <http://www6.ocn.ne.jp/~yu-ishi/>



装画を担当させて頂いた書籍が  
全国書店で発売中です！  
『ナオミとカナコ』  
奥田英朗 著  
幻冬舎

松浦シオリ  
[shiori-matsuura.com](http://shiori-matsuura.com)

チューーリップの球根は一定期間、低温にあわないと上手く咲けないそうです。

…というのは分かるのですが、やっぱり寒いのは苦手です。

できれば、持ち前の冷え性と低体温を活かして

クマみたいに春まで

冬眠したい。

長い冬の間、

花咲く時を妄想して

楽しめるように

この秋も白老の友人の庭に

チューリップの球根を植えました。

2014年の春は、もうすぐ開花という時に  
同じく春を待ちわびていたエゾシカ達に  
根こそぎ食べられガックリでしたが  
今度の春は、どうなることやら。

エゾシカさん、

お手柔らかにお願いします。

# 心の塗り絵



もし、あなたが雪の色を塗るしたら何色で塗るでしょうか？

雪は白いから色は塗れないという方もいるかもしれません。

色の世界で“白”というと“真っ白”をさします。しかし、一般的には淡いグレーやクリーム色も“白”と言いうことがあります。

雪は白い…にちょっと待ったをかけて。

雪は本当に真っ白なのか？と疑問を持って見てみると、今まで見えていなかった雪の色に気がつくかもしれません。

上は私が描いた水彩画を白黒にしたものです。

この絵の色つきを見たい方は左の QR コードからご覧いただけます。 水彩画家 / イラストレーター 石垣 渉



鈴木隆一朗

milk@joy.ocn.ne.jp

<http://illust-ryuichi.sakura.ne.jp>



世界へ  
知らぬ  
未だ

## POWDER SNOW

絵 / デザイン 真吏奈 マリナ

Tel: 090 6697 2399 Mail: info@abemarina.com  
[www.abemarina.com](http://www.abemarina.com)

# イラスト散歩

絵と文 佐藤正人

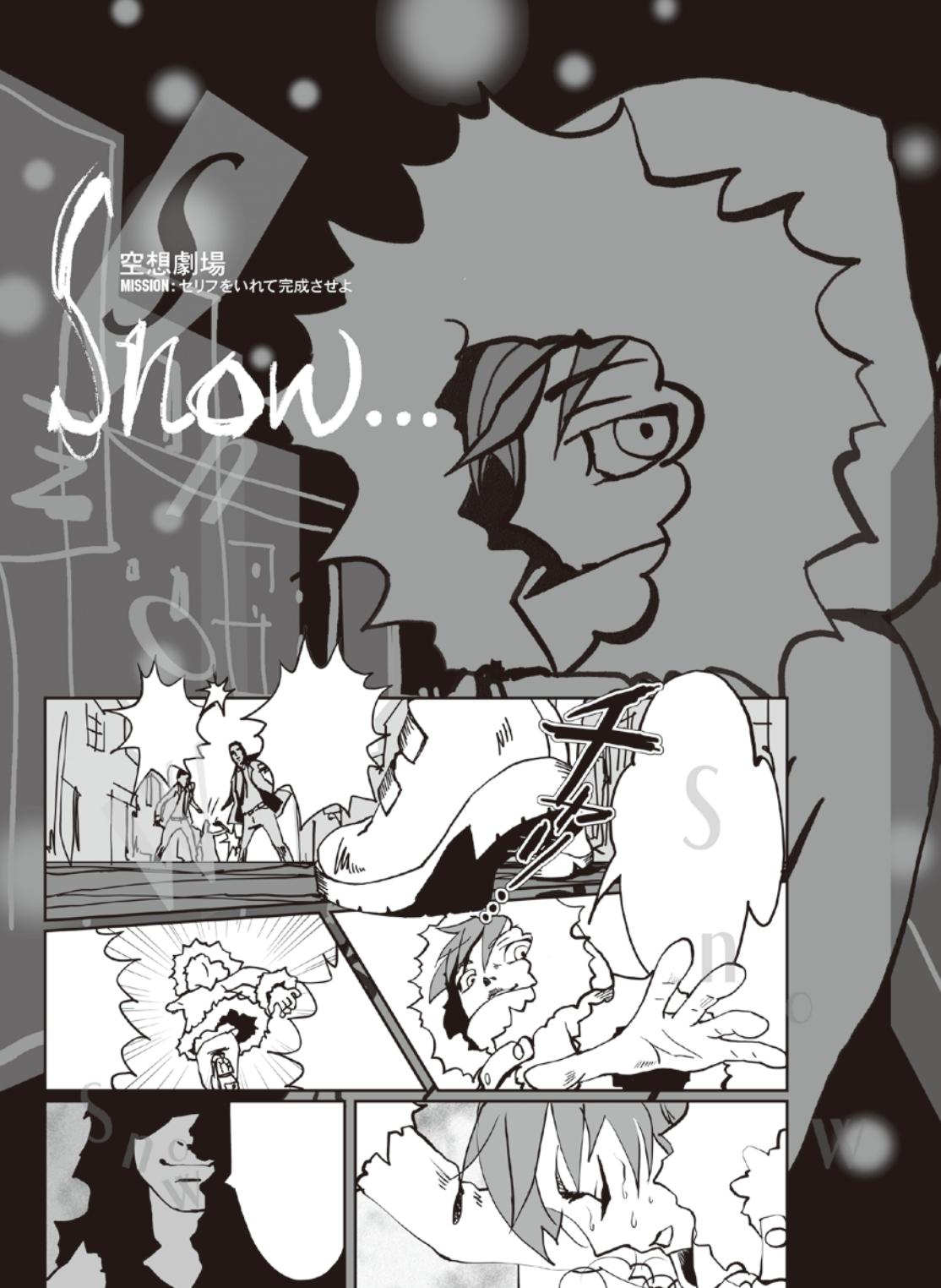
最近は取材関連の仕事が多く、毎月道内を巡っている。石狩管内をはじめ空知、全道の漁港などなど。現地を取材してそれをイラストにして、文章をまとめる、いわゆるルポイラストである。でも、あらためて全道を巡ると住み慣れた北海道ではあるが、意外と行つたことがなかったり、知らなかつた町も結構あることを再認識することが多い。

取材先も観光地的な場所ばかりではないので、意外と再発見する景色や出会いがある。今ではそれを楽しみに出かけている。でもドライブしていて季節の良い頃はいいのだが、北海道には冬がある、しかも大雪で覆われる。やはり冬の移動はたいへんなのだ。

まだ命の危険を感じるような場面に出くわしたことはないが、何もない原野を走り吹雪に遭遇するとそれは身の危険も感じることも。しかも自分は携帯電話を持っていない。それを人に言うとすごく驚かれる。「何で持っていないんですか。」とお決まりの文句。何でと言われてもなんとなくしか言いようがないが、確かにこの情報通信社会、携帯電話をもっていない人間は少ないかも、貴重かも。そのうち天然記念物並みになるのだろうか。

人気のないめったに車の通らないような道路で車が故障したら、、、。そう思うこともあるが、まあ人間どうにかなるだろう。そんなこといちいち考えていたら何処へも行けない。そう思い込みながら、今日も携帯持たないおじさんイラストレーターは全道、旅を続けているのでした。全道巡りはこれからもまだまだ続きま～～す。

MASATO SATO ILLUSTPAGE <http://illustpage.jimdo.com/> <http://illustpage.jugem.jp>



小学校に入る前、私が訓子府町という小さな町に住んでいた頃。

私の冬の遊びはスキーだった。といつて私のスキーは山のスキーだ。その頃のスキーは木の板に塗料を塗ったものといった感じでゴム長靴をバネのような金具でパチンと付けるようなものだった。家の手には小さな山があつて長靴では埋まってしまう所でもスキーなら行けるというわけだ。だから斜面をザクザク登って下り坂になると滑って下りる。実際には滑るというよりも転んだり服に雪が入ったりの繰り返しなので汗と雪でびっしゃりになるのだった。

それでも山の中に入つていくと小さな足跡が見つかる。爪の跡がついた小さな足跡はイタチだ。チョコチョコと続き時々ジャンプしたりしている。それより大きな足跡はキツネかな。そのうちにハの字を逆さにしたような足跡の後ろに小さな丸い足跡がちよんちよんと続いているのに出くわす。ノウサギだ。これからが父に教えてもらった私のとつておきの遊びだ。この足跡を追つて山の中を行く。独特的の足跡はまっしづらに駆けているときもあるばジグザグに駆け回つている時もある。



## さあ、ドイツゲームだぞ!

サイコロが舞い、飛び交うカード、そして熱つい駆け引き!! でも誰でも気軽に始められる、そんなドイツゲームで楽しい交流活動をしているのが「ドイツゲームの会・トイトイ」です。札幌の公民館や飲食店等で、ゲームイベントを開催しています。ちびっ子やご年配の方も一緒に楽しめます。ゲーム自体もステキなデザインで、異国情緒たっぷり! その数も世になんと数千種以上! ゼヒ一度遊んでみませんか。さあ、ゲームの時間が始まるぞ~みんなあつまれ!!

ゲームを通じて  
ひろがる笑顔と交流。

\* **toi** **toi**  
boardgame

次の予告は、ホームページにて!  
**トイトイ ドイツゲーム** 検索  
eメール: tiexiong48@yahoo.co.jp (高橋)

## 「冬の日」

絵・文 吉川 聰子



時々見失いそうになりながらも木々の間を枝に弾かれないように気を付けながら辛抱強くたどつていく。…と見つけた。小さな雪穴だ。ここはノウサギの休憩地点なのだ。そつと腕を差し入れてみると、肩まで入れてみても穴はもつとずっと深い。それもそのはず、この穴は実はトンネルでしかも複雑にカーブしている。そういうことで侵入者から容易に見つからないようになつてゐるのだ。トンネルの中はほんのりと暖かい。雪の感触を確かめながら思う。薄水色の雪の中で息を潜めながらノウサギは何を考えているのだろう。しばりくそつしていつたように思う。ふと、感じた。これからを見ている田がある。ゆっくりと頭を上げてみると、白い雪の中に溶け込むような小さな白い姿があった。耳の先だけが黒い。ノウサギはほとんど点のようにしか見えない遠さから、つぶらな瞳でこちらを見ていた。

家に帰つて濡れた服と靴下を脱いでストーブに当たると冷えていた手も足もかゆくなってきた。暖かい牛乳をもつて飲みながらぼんやりと今日のことを思い出す。あの子は今頃どうしているかな。あの雪穴で息を潜めているのだろうか。



絵・写真・文 スダ ナオ子

## 育児と イラストレーター

釧路へ越してきて3年目、冬は雪が少なくて路面が結構出でていて、晴れの日が多い。だけど、寒いっ…さらには雪が降ってもザクザクとして歩いて歩きにくい…。同じ道内でもこんなに違うんだと思いました。雪が少ない分、除雪は今のところ多くて2~3回、腰痛持ちの私にとっては負担が少ないので助かります。

昨年、1歳を過ぎた息子に初めての雪遊びをさせたくて、天気の良い日に公園へ連れ出したものの、「ザクッ、ザクッ」と手や足の跡が付いて進むのが困難でした。

結局、硬くて冷たい雪の上に座りそのままの息子は、歩こうとしても埋まつたけないので嫌がり、公園での雪遊びは断念。なりほど、家の前で雪だるまを作つてみるものの、雪が硬いのでボコボコの雪だるまになり、ソリに乗せて散歩をしてみると、雪が硬くてガタガタと大きな音と振動が嫌ですぐに降りよつとする始末…(泣)。時間やタイミングが悪かっただけなのか、こじわと雪遊ぶをするにはかなり苦戦した冬だったので、今年はどうなることやらです(笑)

でも、息子が2歳になりだが会話ができるようになつたので、昨年とは違ひ新たに雪遊びと一緒に考えられることを期待しようつとっています。

ようやく育児と家事と仕事とのバランスをとりつつ、安定してきたかと思えた今日この頃。しかし…

ある日、指しゃぶりと同時に人差し指を鼻に入れていたので注意すると、



食べ物をぐちゃぐちゃに散らかしていたので両腕を掴んで注意しようと、頭突きをしてきたり…。



息子の  
LINEスタンプ申請中！



現在審査中の為、  
審査が通過次第、  
ブログでお知らせします。

<http://ameblo.jp/snaomama>

HP : [nacart.main.jp](http://nacart.main.jp)  
E-Mail : [nacart@cu.main.jp](mailto:nacart@cu.main.jp)

親バカですみません！  
寝相アート  
「2歳の誕生日」

バースデーケーキの寝相  
アートだったけど、身長が伸びて大きくなつたので、布の大きさにも限界があり、フレームに納まらなくなってきました ^; ;



札幌在住イラストレーター 中井亜佐子  
[naka.asa@jcom.home.ne.jp](mailto:naka.asa@jcom.home.ne.jp)  
北海道イラストレーターズクラブαのHPに作品を掲載しています。



●イラストレーターへの質問コーナー ● 今回はイラストレーターを目指す専門学校生からの質問です。

【質問者】北海道芸術デザイン専門学校  
一般課程(夜間)イラスト科1年生の皆さん



&



【回答者】北海道イラストレータークラブ会員  
前橋康博・西田ヒロコ・西村昌実

Q1 学生のうちにやつておいた方がいいのは何ですか?

A 前橋：やつてみたいことはとにかくやつてみること、冒險することが重要です。



A 西田：平均すると、10時間くらいでしようか。多い日も少ない日もあります。

A 前橋：人脈とコミュニケーション。

A 西田：今は何と言つてもHP作成とギャラリー登録。いろんなサイトがあるので登録してみるとよいでしょう。ネットで新しい仕事の仕方もいろいろ出てきているようですが、劣悪な条件のももあると思うので、すぐ手を出さずくれぐれもよく調べてからがいいと思います。

A 西田：旅行とかでどうか。仕事始めると全然行けなくなるので…。

A 西村：それこそ、「いろいろな経験」をしてほしいです。皆さん夜間学生さんなので、さまざまな事情で時間が取れない反面、逆に世間にもまれて日中の学生では経験できないこともある→

A 西村：今なら、まずはやはり、HPでしよう。若いうちなら、デザイン会社へもぜひ持込みで行ってみるとよいと思います。ダメもとでも人と会うのは大事。あとは、公募展やコンテストもいいですね。

Q4 クライアントの理想に応えるために、心掛けている」とは、

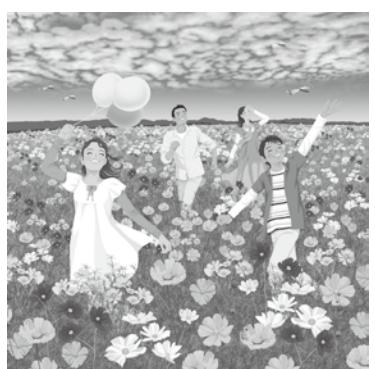


イラスト 西田ヒロコ  
「東洋経済新報社『四季報』秋号表紙」

A 西村：アーティスト（画家とか、美術家）ではない、ということ。イラストレーターはサービス業である、と思っています。まずは、クライアントさんが喜んでくださるものを作ることを目指しています。

Q2 1日に何時間ぐらい絵を描いてしているのですか？

A 前橋：トータルで、9時間くらい。

A 西田：一日のうち、普段の生活時間を除きますと、仕事に当たられる時間は実質13～14時間くらいでしようか。忙しい時はまるまる仕事にあてることもありますが、それほど仕事のない時は、ネットでいろいろ検索したり、オリジナル素材の描きためなんかもしながらPCの前で過ごしています。

はず。「夜間だからマイナス」とは必ずしも言えません。まずは、なんにでも好奇心を持ち、興味を持つたことにはどんどん深入りを。



イラスト 西村昌実「トラとこたつ」

質問と回答は

10問ありましたが、  
残りは「イララブログ」へ  
掲載いたしました。  
ぜひ、こちらもご覧ください！



<http://blog.goo.ne.jp/freepaper-ilala>

# イラストレーターα

<事務局>

〒063-0032 札幌市西区西野2条8丁目3-1-501

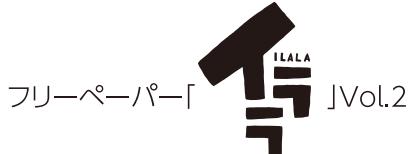
TEL (011)665-5487

E-mail cockpit@w9.dion.ne.jp

北海道イラストレーターズクラブαは1973年発足のプロのイラストレーターの全道組織です。会員作品集「マイワーク」を隔年発行し、展覧会やイベント参加など、さまざまな活動を行っています。新規会員も随時募集していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

☆ホームページ  
<http://airacafe.com/illust.a/>

北海道イラストレーター 検索



2014年12月1日発行 ※イララは年3回発行です。

発行者：小田啓介

編 集：渋谷裕二、中井亜佐子、西村昌実

事業部：イラストレーションスタジオ「ぽんじょるの！」

〒064-0944

札幌市中央区円山西町4丁目4-24

E-Mail : ilala@buongiorno.fm

